

### 第3回輪之内町合同家庭教育学級の報告

- 1 演 題 「子どもの自立と親の役割」
- 2 期 日 平成30年12月7日(金)
- 3 時 間 13時30分～15時10分
- 4 場 所 輪之内町図書館 学習室
- 5 講 師 岐阜聖徳学園大学 教育学部 安藤史高 教授
- 6 参加者 合計 18名

#### ◇ 内 容

- (1) こどもの自立とは何か。
  - ・10分程度、隣と話し合う。
  - ・その発表
    - こども園 靴を自分で履く。スモックのボタンをかける。  
スプーンでごはんを食べる。
    - 小学生 鉛筆を削る。洗濯物を洗濯機に入れる。  
時計を見て、次の行動ができる。  
一人でお風呂に入る。
    - 中学生 将来の職業のために、進路について自分で考える。
- (2) 行動の自立
  - ・食事、睡眠、排泄、手洗い、歯磨きなど  
いつできるようになるかは、時代により変化してきた。  
服装、食器、おむつの変化による。
- (3) 心に自立
  - ・愛着 特定に人(母親)との心の結びつき  
子どもの安心感のもと
  - ・自分で考え、判断して自分の行動を決める。  
何が良くて何が悪いかわかるようになる。
  - ・第2反抗期 人間関係の広がり  
親子関係から友達関係に広がる。
- (4) 青年期の親の役割
  - ・以前 親に頼らない。親から離れる。
  - ・最近 親から自立するが適度に依存する。
- (5) マズローの欲求階層
  - 自己実現の欲求
  - 承認(自尊)の欲求
  - 所属と愛情の欲求
  - 上 安全の欲求
  - ↑位 生理的欲求

自尊感情の質問  
自分はよい素質をもっている。  
他の人からうらやましがられる。  
自分は人の役に立っている。  
自分には自慢できないことがない。  
自分は駄目な人間だと思う。 等

自尊感情の変化(自尊感情の点数化)  
特に中高生で年々低下している。
- (6) 自立のための親の役割
  - 支え励ます。  
子どもに挑戦する機会を与える。  
結果だけでなく経過も認める。  
以前からの向上を評価する。
  - 適度な依存  
つかず離れず。  
必要なときに受け入れる姿勢。

